

4 埼玉県子ども・若者計画の一部を次のように変更する。

(傍線の部分は、改正部分)

改 正 案						現 行					
埼玉県子ども・若者計画						埼玉県子ども・若者計画					
目次 (略)						目次 (略)					
第1章 (略)						第1章 (略)					
第2章 施策の展開						第2章 施策の展開					
計画の体系 (略)						計画の体系 (略)					
埼玉県子ども・若者計画における指標						埼玉県子ども・若者計画における指標					
1～3 (略)						1～3 (略)					
4 「子どもの貧困」対策の推進、配慮を要する子どもへの支援						4 「子どもの貧困」対策の推進、配慮を要する子どもへの支援					
No.	指標名	現状値	目標値	指標の説明・選定理由	目標の根拠	No.	指標名	現状値	目標値	指標の説明・選定理由	目標の根拠
8～11 (略)						8～11 (略)					
12	特別支援学校高等部で一般就労を希望する生徒の就職率	85.4% (令和5年度)	<u>96.4%(令和11年度)</u>	・県立特別支援学校高等部の生徒のうち、一般就労を希望した生徒が卒業する時点	「埼玉県5か年計画」及び「第4期埼玉県教育振興基本計画」の数値目標の目標値	12	特別支援学校高等部で一般就労を希望する生徒の就職率	85.4% (令和5年度)	<u>92.3%(令和11年度)</u>	・県立特別支援学校高等部の生徒のうち、一般就労を希望した生徒が卒業する時点	「埼玉県5か年計画」及び「第4期埼玉県教育振興基本計画」の数値目標の目標値

				で一般就 労できた 割合(内定 を含む)。 ・特別支 援学校に おける教 育の充実 の成果を 示す数値 であるこ とから、こ の指標を 選定。	をもとに、 目標値を 設定。					で一般就 労できた 割合(内定 を含む)。 ・特別支 援学校に おける教 育の充実 の成果を 示す数値 であるこ とから、こ の指標を 選定。	をもとに、 目標値を 設定。
5～8 (略)						5～8 (略)					
9 「子育て」と「子育て」の支援						9 「子育て」と「子育て」の支援					
No.	指標名	現状値	目標値	指標の説明・選定理由	目標の根拠	No.	指標名	現状値	目標値	指標の説明・選定理由	目標の根拠
25～30 (略)						25～30 (略)					
31	「地域で こどもを 育てる意	55.7% (令和 5 年度)	<u>90.1%</u> (令和 11 年度)	・県の「学 校応援団」 の推進に	「埼玉県 5 か年計 画」及び	31	「地域で こどもを 育てる意	55.7% (令和 5 年度)	<u>60.0%</u> (令和 11 年度)	・県の「学 校応援団」 の推進に	「埼玉県 5 か年計 画」及び

	識が向上した」と回答した小・中学校の割合			係る調査において「地域で子供を育てる意識が向上した」と回答した小・中学校の割合。 ・学校と地域の連携・協働を進め、社会全体で子どもを育てることが重要であり、「学校応援団」の活動を通して地域で子どもを育て	「第4期埼玉県教育振興基本計画」の数値目標の目標値をもとに、目標値を設定。			識が向上した」と回答した小・中学校の割合			係る調査において「地域で子供を育てる意識が向上した」と回答した小・中学校の割合。 ・学校と地域の連携・協働を進め、社会全体で子どもを育てることが重要であり、「学校応援団」の活動を通して地域で子どもを育て	「第4期埼玉県教育振興基本計画」の数値目標の目標値をもとに、目標値を設定。
--	----------------------	--	--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------	--	--	----------------------	--	--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------

				る意識を高めることが地域と連携・協働した教育の推進に寄与することから、この指標を選定。	
32～33 (略)					

10 (略)

11 子ども・若者の健やかな成長を支える担い手の養成・支援

No.	指標名	現状値	目標値	指標の説明・選定理由	目標の根拠
36 (略)					
37	「地域で子どもを育てる意識が向上した」と回答した小・	55.7% (令和5年度)	<u>90.1%</u> (令和11年度)	・県の「学校応援団」の推進に係る調査において「地域で	「埼玉県5か年計画」及び「第4期埼玉県教育振興基

				る意識を高めることが地域と連携・協働した教育の推進に寄与することから、この指標を選定。	
32～33 (略)					

10 (略)

11 子ども・若者の健やかな成長を支える担い手の養成・支援

No.	指標名	現状値	目標値	指標の説明・選定理由	目標の根拠
36 (略)					
37	「地域で子どもを育てる意識が向上した」と回答した小・	55.7% (令和5年度)	<u>60.0%</u> (令和11年度)	・県の「学校応援団」の推進に係る調査において「地域で	「埼玉県5か年計画」及び「第4期埼玉県教育振興基

	中学校の割合【再掲】			<p>子供を育てる意識が向上した」と回答した小・中学校の割合。</p> <p>・学校と地域の連携・協働を進め、社会全体でこどもを育てることが重要であり、「学校応援団」の活動を通して地域でこどもを育てる意識を高めることが地域</p>	<p>本計画」の数値目標の目標値をもとに、目標値を設定。</p>					<p>中学校の割合【再掲】</p>			<p>子供を育てる意識が向上した」と回答した小・中学校の割合。</p> <p>・学校と地域の連携・協働を進め、社会全体でこどもを育てることが重要であり、「学校応援団」の活動を通して地域でこどもを育てる意識を高めることが地域</p>	<p>本計画」の数値目標の目標値をもとに、目標値を設定。</p>
--	------------	--	--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------	--	--	--	--	-------------------	--	--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------

				と連携・協働した教育の推進に寄与することから、この指標を選定。						と連携・協働した教育の推進に寄与することから、この指標を選定。	
1 2 (略)						1 2 (略)					